

金沢 SDGs 探究プログラム

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



もくじ

各タイトルを押すとページにジャンプします

◆◆ 金沢ならではのSDGs ◆◆

[01 ■ 木の文化都市・金沢](#)

[03 ■ シェアサイクル まちのり](#)

[05 ■ ボランティアガイド](#)

[07 ■ 兼六園でSDGs](#)

[09 ■ 伝統工芸](#)

[11 ■ 多種多様な文化施設](#)

[13 ■ 景観](#)

[15 ■ 金沢城復元](#)

[02 ■ 金澤町屋](#)

[04 ■ 置き傘](#)

[06 ■ 用水](#)

[08 ■ 伝統的建造物群保存地区](#)

[10 ■ 伝統芸能](#)

[12 ■ 歴史的建築物](#)

[14 ■ セリ](#)

[16 ■ 技の伝承・職人の育成](#)

◆◆ 体験プログラム ◆◆

■ [名園の美しさを未来に継承 ～兼六園で学ぶSDGs～](#)

■ [金属廃材をモダンなテーブルウェアへリサイクル](#)

[～創業1714年から継承する鑄造技術と資源循環～](#)

■ [国連大学 サステナビリティ高等研究所見学](#)

■ [金箔製造のワザとココロ ～体感型金箔総合ミュージアムで学ぶSDGs～](#)

■ [ぶどうの森の「ラシェットプロジェクト」～美味しく学ぶSDGs～](#)

■ [もったいないから旅の思い出に ～九谷焼の廃材を使ったデコレーション体験～](#)

■ [伝統の職人技に触れる ～畳コースター作り体験～](#)

■ [サステナブルな観光を ～金沢の武家文化・庭園を継承していく～](#)

■ [湯涌温泉めぐり旅「謎解きウオーク」子ギツネ編](#)

■ [ホテルが棲み続けられる里山環境を保全 ～綺麗な水と生物多様性～](#)

【まいどさん企画】

■ [金沢随一の観光地ひがし茶屋街をサステナブルの観点で歩く](#)

■ [訪日客にも大人気のサムライ・タウン長町武家屋敷跡をサステナブルの観点で歩く](#)

■ [かつては大学のキャンパスだった！金沢城公園をサステナブルの観点で歩く](#)

[その他、金沢でできる体験学習はこちらをクリック](#)

金沢の伝統色「加賀五彩」で地域ごとに色分け

藍

東山周辺

えんじ

兼六園
周辺

草

長町周辺

黄土

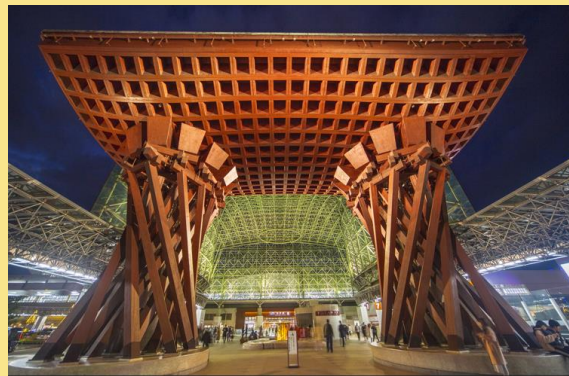
湯涌

古代紫

その他

01 木の文化都市・金沢

金沢市では、まちなみや生活に幅広く「木」を取り入れ、歴史・自然・文化との調和を図るとともに、「木」の優れた特性をまちづくりに生かし、持続可能な仕組みを備えるまちを目指しています。



◆一軒の木造建築を建築するには、約100本の木が必要

かつての日本家屋は木造だったため、定期的に木の伐採、植林のサイクルが行われていました

◆森林を定期的に手入れすることで、健康で丈夫な木が育ち、水や空気が浄化（きれいにすること）され、さまざまな災害から私たちを守ってくれています



現在

- ・木造建築の減少により、森林が荒れ果てる
- ・木材の値段が安くなり、産業(林業)が衰える
- ・健康で丈夫に育たなくなることで、水や空気の浄化機能が鈍化、土壌がゆるみ災害発生の原因に（豪雨⇒地盤が緩み土砂崩れなど）



金沢市の取り組み

- ・公共建築物や一般建築物において、地元産木材の利用を促進する法整備
- ・地元産材を使った商品の開発・使用の推奨
- ・「木育」促進：遊びを通して木と触れ合うことで、環境に関心をもたせます



02 金澤町家

昭和25年以前に建てられた伝統的な木造住宅の総称。町屋、武士系住宅、近代和風住宅など、多種多様な歴史的建築が市民によって住み継がれており、現在金沢市内には約5,800軒あります。



個人宅とはいえ、勝手に金澤町家の解体はできません!!

金沢の歴史・文化・伝統を伝える貴重な資産である金澤町家の保全・活用を推進するため、様々な取り組みをしています。



- ◆金澤町家を解体しようとする場合、90日前までに届け出る制度を設け、保全・活用のための支援策を提案
- ◆次世代に継承していく重要性を市民に啓発（教え広める）
- ◆町家を利用したい人と町家のオーナーをマッチングさせる仕組みにより、利用の促進を図る
- ◆保全・活用に必要な「伝統技術」に関わる職人技の継承や専門知識を有する人材を育成



歩きながら
みつけてみよう！



03 シェアサイクル まちのり

どこのサイクルポート（専用駐輪場）でも借りられて、どこでも返せる公共シェアサイクルサービス。



- ◆金沢市内に「75」（2025年度には100箇所を予定）の専用駐輪場あり
主要観光箇所間の移動はもちろん、市民の足としても利用
「旅行者」も「市民」もハッピー
- ◆金沢は坂の町 → 500台（2025年度には700台を予定）全て電動自転車
- ◆自家用車の利用を控え、公共交通機関やまちのりを利用



- 二酸化炭素排出がなく、地球にやさしい
- エネルギー消費型 ⇒ 環境を重視したまちへ
- “シェア”という考え方や大切にものを使う
→ 資源の効率的な利用



04 置き傘

自由に使えて、自由に返せる置き傘。



- ◆「弁当忘れても傘忘れるな」と言われるほど雨の多い金沢では、急な雨に対応できるよう市街地では複数箇所、自由に借りられて、自由に返せる傘置きを設置
- ◆市内2か所にある観光案内所では、傘の他、「長靴」「車いす」も貸し出しあり（無料）
- ◆旅行者だけでなく、市民も利用



- “シェア”という考え方や大切にものを使う → 資源の効率的な利用
- 訪れる人への“おもてなし”の一つ



05 ボランティアガイド

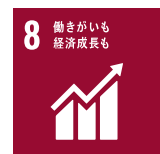
金沢市内をいろいろ案内してくれるボランティアガイド「まいどさん」のほか、金沢城・兼六園を案内する「城と庭のボランティア」や、外国語対応の通訳ボランティアガイドなど、金沢には様々なボランティアガイドが日々活躍しています。



～歴史や文化の語り部～

- ◆現在、約300名のボランティアガイド「まいどさん」、「城と庭のボランティアガイド」が在籍
- ◆年齢は20代～90代と幅広く活躍中！（2024年現在、最高齢は英語ガイドとしても活躍する97歳！）
- ◆年中無休
- ◆人が好き、歴史が好き、伝統文化が好き、金沢が好き、という多種多様な方々が自身のライフステージに合わせて柔軟に学び直し、感じたことを、旅行者へ案内することで、**健康の促進、社会貢献に、生きがいくりにつながっています。**
- ◆観光客だけでなく、自分達の住む街を案内してもらう金沢市民も多くいます。そこには多くの発見があり、街を愛する意識の醸成にも貢献しています。

ボランティアガイドさんにいろいろきいてみましょう！

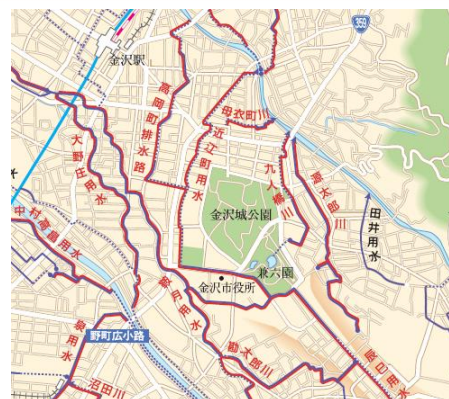


06 用水

金沢は藩政時代からの用水が流れる全国屈指の「用水のまち」です。市内を網の目のように流れる数多くの用水は、景観に個性と潤いを与えるだけでなく、金沢の文化、歴史、日常生活の担い手です。



- ◆武家屋敷群を流れ、金沢城築造に際して港から木材を運んだとされる（大野庄用水）
- ◆一部は金沢城の外堀（惣構）として使われ、近代工業の動力としても使われた（鞍月用水）
- ◆金沢城への引水を目的として作られ、今なお兼六園に水を送り続けている（辰巳用水）
- ◆農業用水のみならず、生活用水や防火用水としても利用
- ◆用水沿線ではホテルの生息環境が整備され、市中心部でも夏にホテル観賞ができます。



これらの用水は、一時期は暗渠化（水路に蓋掛け）されていましたが、市中心部では開渠化が行われ、街に潤いと安らぎが蘇りました。用水の流れが生み出す美しい景観を巡りながら、用水が果たす役割について考えてみましょう。



07 兼六園でSDGs

土地の国宝「特別名勝」に指定されている兼六園の希少な景観・自然を守り、後世に継承します。



①後継木の育成

園内には約8,200本の樹木があり、そのうち

19本 → 重要な「特別名木」 54本 → 「名木」 約350本 → 樹齢100年以上の「古木」

希少な遺伝子を持つ樹木の消滅を防ぐため、万が一に備え、別の場所で名木の遺伝子を持つ跡継ぎを育てている

②雪吊り

毎年11月に入ると、雪害（雪の重さで枝や木が折れるなど）から樹木を守るために雪吊りを行う
約800箇所の作業、約4,000kgのわら縄を使用

3月に雪吊り解除後、不要なわら縄は、刻んで「たい肥(肥料)」として再利用

自分たち住んでいる街でずっと残していきたいものは何ですか？
そのために何ができるか、何をしたらよいか考えてみましょう。



08 伝統的建造物群保存地区

伝統的建造物やこれに密接に関係のある樹木、庭園、水路、石垣などを含む歴史的な町並みの地区を「伝統的建造物群保存地区」として指定し、保存を図っています。
現在金沢には4つの保存地区があります。



- ①東山ひがし : 江戸時代後期から明治初期にかけての茶屋建築がまとまって残されており金沢の茶屋文化を今に伝える貴重な町並み
- ②主計町 : 河畔に成立した茶屋町の特徴を今に伝える、国内でも数少ない貴重な町並み
- ③卯辰山麓 : 卯辰山麓を巡る曲折した街路に沿って寺社が建ち、町家と渾然一体となった町並みは全国的にも類例がなく大変貴重
- ④寺町台 : 伝統的な寺社及び町家や藩政期以来の街路が良く残っており、まとまりのある町並みを残している

古い伝統をもつ町並みを保存し、土産物店やレストラン、カフェなどに活用することで、そこで働く人々の雇用を生み出すなど、持続可能な観光につながり、ひいては地元愛を高めています。

自分たち住んでいる街または周辺で「伝統的建造物群保存地区」に指定されている箇所があるか確認してみましょう。



09 伝統工芸

江戸時代
加賀藩前田家は
江戸徳川幕府に
次ぐ巨大勢力

江戸幕府の
警戒を解く
ために文化
振興に力を
入れる

・京都や江戸から名工
を招き、後継者を育成
・全国から工芸品を収
集し、サンプル集を
つくる



国指定
伝統工芸品
(6種)

加賀友禅



九谷焼



金沢箔



金沢仏壇



金沢漆器



金沢縫



高度経済成長以来、大量生産・大量消費、使い捨てが当たり前の世の中に

エネルギーには限りがあり枯渇しつつある、またごみの埋め立てにより生態系が崩れ、大量の二酸化炭素を排出することで環境破壊も進んでいる

「持続可能性」や「ものを大切にすること」に重きをおくようになってきている

大量生産ではなく、手作業で一つ一つ丁寧に選ばれた資源から作り上げられる
伝統工芸品は、**品質が高く、長く使い続けることができます**



10 伝統芸能

約700年前に生まれた「能」「狂言」は、武士のたしなみとされて
いました。金沢では、大名や武士だけでなく、町民にも奨励されて、
現代にも受け継がれています。



能

狂言

能面をつけて舞う

「観世流」「金春(こんぱる)流」などの流派がありますが、加賀藩
では5代将軍徳川綱吉が好んでいた「宝生流」を奨励・保護し、
「加賀宝生(かがほうしょう)」として現代まで継承されています。
歴史上の人物・事件を描いた物語や神話などの悲劇が中心。

面は通常つけず、セリフが中心

庶民の日常生活を明るく描いたコメディ
が中心。

将来の担い手を育成＝「加賀宝生子ども塾」「加賀素囃子子ども塾」

対象 : 小学校3年～中学1年生

期間 : 2年間

授業料: 無料

教科 : ①謡(うたい)・仕舞(しまい) ②狂言 ③加賀宝生 をその道のプロから学ぶ

裾野を拡大することにより伝統文化を次世代に引き継ぎます



11 多種多様な文化施設

世界的に有名な金沢21世紀美術館をはじめ、個人の小さな美術館・博物館まで多種多様な文化施設が市中心部の至る所にあり、ほんものに触れやすい環境が整っています。



現代・モダン

- ・金沢21世紀美術館
(ルーブル美術館別館など世界を舞台に活躍するSANAAが設計)
- ・KAMU KANAZAWA
(21世紀美術館の「スイミングプール」のレオナルドの作品など今活躍するアーティストの作品群)
- ・谷口吉郎・吉生記念金沢建築館
(東京国立博物館東洋館、迎賓館赤坂離宮を設計した金沢出身の谷口親子ゆかりの地)
- ・鈴木大拙館(谷口吉生設計)
- ・柳宗理デザインミュージアム

伝統・歴史

- 【茶道】中村記念美術館
- 【能楽】金沢能楽美術館
- 【金箔】金沢市立安江金箔工芸館
- 【友禅】加賀友禅会館
- 【大樋焼】大樋美術館
- 【芸妓】お茶屋美術館
志摩(重要文化財)
懐華楼
- 【武家】旧加賀藩士高田家跡
武家屋敷跡野村家
金沢市足軽資料館
- 【藩政期の生活】金沢湯涌江戸村



4 質の高い教育を
みんなに



12 歴史的建造物

戦災や大きな災害に見舞われなかった金沢では、さまざまな時代の建造物が残っており、「保全」を図るとともに「活用」することで、次世代に文化遺産を継承します。



江戸

- ・金沢城石川門 天明8年(1788年)

明治

- ・石川四高記念文化交流館 ← 明治26年 旧制高等学校(国重要文化財)
- ・金沢くらしの博物館 ← 明治32年 元中学校(国重要文化財)
- ・尾張町町民文化館 ← 明治40年 元銀行
- ・国立工芸館 ← 明治43年 旧近衛師団司令部庁舎
- ・石川県立歴史博物館 ← 明治42年～大正 旧陸軍兵器庫(重要文化財)

大正

- ・石川県政記念しいのき記念館 ← 大正13年旧石川県庁舎本館
建物の表半分を残しつつ、裏半分はモダンなガラス造りに改修

表(レンガ)大正



裏(ガラス)平成



◆歴史的文化資産であり、次世代に継承していく重要性を市民に啓蒙

◆保全・活用に必要な「伝統工法」に関わる職人技の継承や専門知識を有する人材育成

4 質の高い教育を
みんなに



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



13 景観

城下町建設が始まって以来400年以上、戦火を免れ、藩政期の都市構造と固有の景観が残るまち・金沢。旅行者へのアンケートで毎年、「街並み」「史跡・名勝等」が満足度の上位に挙げられています。



経済最優先だった50年以上前、全国初の景観保存条例を制定

↓
歴史的街並みと近代的都市景観が共存し、“保存と開発が調和”

- 建築物** 地域の特性に応じ、建物の色彩や緑化を誘導
- 屋外広告物** 看板のデザインも景観に調和するよう誘導
- その他の条例** 用水、斜面緑地、寺社風景、眺望景観、夜間景観、川筋景観など他にも多くの条例を制定し景観を保全
- 無電柱化** 良好な景観づくりに加え、歩きやすいまち、災害に強いまちをめざして無電柱化を推進



無電柱化前



無電柱化後

自分たちの住む町で、好きな景観はどこですか？ その理由は？
またもう少し●●だったらいいのに、と思う場所や景色はどこですか？
実現するためにどうしたらいいと思いますか？



14 セリ

石川県沖は暖流と寒流が能登半島にぶつかり、たくさんの魚が回遊する恵まれた漁場。また金沢は雨量が多く、山からの栄養分を含んだ川が多く流れ込み、魚の餌となるプランクトンが豊富なため、美味しい魚で全国的に知られています。



以前 **深夜セリ（朝3:30～）のみ** セリに間に合わなかった魚は、1日保存し翌日のセリ →大半が県外へ

↓ 保存するためのエネルギーを使う
現在 **朝セリ（朝8:30～）を導入** とれたての新鮮な魚を地元に流通させたい！

- ◆ かなざわ総合市場では、深夜セリ(3:30)に加え朝セリ(8:30)も開催することで、**朝とれたての魚がその日のうちに地元に（地産地消）**
- ◆ 規格外や少量の魚も受け入れ、流通にのせることで、**魚の命の無駄を減少**
- ◆ 出荷先の選択肢が増えたことで収入がアップ
- ◆ 定置網漁（網を構えて、魚が入ってくるのを待つ手法）を基本とすることで、魚の過剰漁獲を抑え、限りある資源に配慮 → つかう責任

セリってなあに？ →公開の場（市場）で、多くの買い手(市内の魚屋さんやレストランの料理人などに魚を卸す仲買人)に競争で値段をつけさせて、最高額をつけた人が買える取引のこと



15 金沢城復元

伝統建造物の復元。その復元された建物を利用し、金沢の文化や歴史を発信していきます。また史実に忠実な復元をすることで、伝統的建造技術を継承していきます。



①橋爪門

戦国～江戸：金沢城築城

明治：軍隊の用地となる

昭和：金沢大学の敷地となる

平成：県が国から金沢城の敷地を取得し、金沢城公園として整備

◆史実に忠実な本物志向で建造物を復元

木材利用（釘やボルトは使用しない伝統的工法）



伝統技術の継承

- ・2010年 いもり堀、河北門完成
- ・2015年 ①橋爪門、②玉泉院丸庭園完成
- ・2020年 ③鼠多門完成
- ・2022年 二の丸御殿復元に着工

②玉泉院丸庭園



③鼠多門



16 技の伝承・職人の育成

伝統的建造物の保存および修理には、技術の継承が不可欠です。職人による職人のための大学を創立し、金沢に残る伝統的で高度な職人の技の伝承と人材の育成を行います。



◆機械化が進む中で、技法を伝える、後継者不足が深刻な問題



◆伝統的かつ高度な職人の技の伝承と人材の育成が必要



◆金沢職人大学校の開設

- ・期 間：3年間
- ・授業料：無料
- ・対 象：基本的技能を習得している職人
- ・科 目：①石工 ②瓦 ③左官(壁をぬる) ④造園 ⑤大工 ⑥畳 ⑦建具 ⑧板金 ⑨表具



◆「歴史的建造物修復士」として、市内の文化財の修復を実際に行う

◆武家屋敷跡の土塀を守るために、わらを編んだ薦(こも)を掛けるなど昔から受け継がれている技法で歴史的景観の保護を行う



長町研修塾茶室「匠心亭」
大学校の職人が実際に手掛けた庭と茶室



名園の美しさを未来に継承 ～兼六園で学ぶSDGs～

兼六園
周辺



兼六園の美の秘密を紐解き、名園の未来への継承について学ぶ

【実施場所】兼六園 【所在地】石川県金沢市兼六町1

【アクセス】金沢駅から約10分、金沢西ICから約30分

兼六園は、歴代の加賀藩主により長い年月をかけて形づくられた日本を代表する大名庭園であり、年間を通じて多くの観光客が訪れます。

本プログラムでは 専門ガイドと一緒に学習シートを用いて園内を巡り、庭園美を演出する曲水 園内を曲がりくねって流れる小川 や冬の風物詩「雪吊り」などについて SDGsとの繋がりを考察し、名園の美しさがどのように継承されていくかを学びます。



事前学習

- ・兼六園の特徴を、各地の日本庭園と比較してみよう
- ・庭園を維持・管理する仕事にどのようなものがあるか調べよう。

現地学習

- ・学習シートを用いて兼六園の歴史や保全活動、SDGsとの関係について学ぶ(ガイドツアー)
- ・店でお抹茶とお菓子をいただきながらツアーで学んだことを発表

事後学習

- ・身近な都市公園を題材に、人の営みと自然の営みのバランスについて考えてみる

SDGsで
あてはまる項目



問合せ先 協同組合 兼六園観光協会

電話番号：076-221-6453

メールアドレス：info@kenrokuen.or.jp

設定期間●毎日（年末年始除く）

最少受付人数●1名

最大受付人数●40名

体験所要時間●2時間

受入可能時間●9：00～17：00

販売価格●中学・高校生1,000円＋ガイド費(1名につき)10,000円

金属廃材をモダンなテーブルウェアへリサイクル ～創業1714年から継承する鑄造技術と資源循環～

その他



藩政期より続く鑄造技術を学びながら、廃棄物の新たな活用方法について考える

【実施場所】株式会社 金森合金

【所在地】石川県金沢市松村6丁目100番地 【アクセス】金沢西ICから下車6分

私達は日々の生活の中であらゆる金属の恩恵を受けていますが、金属資源には限りがあり、リサイクルによる資源の保全が求められています。

本プログラムでは、江戸時代より金属廃材の再利用を続けてきた金森合金にて、長年培われてきた鑄物技術の見学と、アルミニウム廃材を精錬することで作られたカトラリーレストへの刻印体験を楽しむことができます。多品種少量生産により不要な在庫を生まない経営姿勢と資源循環の取組みをご覧いただき、産業への理解や今後ますます重要視されるサステナブルな視点に興味を持って頂くことが狙いです。



事前学習

- ・大量生産、大量消費の経済体系による環境問題について調べてみよう
- ・資源の枯渇による将来への影響を調べてみよう

現地学習

- ・金属廃材がリサイクルされる工程を映像学習
- ・映像学習した素材や鑄造工程を実際の鑄物工場で見学
- ・アルミ廃材から作られたカトラリーレストへの名入れ刻印体験

事後学習

- ・金属のリサイクル技術とそれにより生まれた素材を使うことで、自身の生活に活かせるものはないか考えてみよう
(皆さんのアイデアをもとに試作品を製作し、商品化することも可能です)

SDGsで
あてはまる項目



問合せ先 **株式会社 金森合金**

電話番号：076-267-3003

メールアドレス：info@kanamori1714.jp

設定期間●通年（定休日：一部土曜・日曜日・夏季休暇・年末年始）
※金属の鑄込み工程のスケジュールはご相談下さい。

最少受付人数●1名 最大受付人数●35名

体験所要時間●60分 受入可能時間●9：00～17：00

体験料金●1人1,540円 ※参考イメージ <https://www.kanamori1714.jp/openfactory>

国連大学 サステナビリティ高等研究所見学

兼六園
周辺



国連の研究機関で学ぶSDGs

【実施場所】国連大学 サステナビリティ高等研究所 いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット

【所在地】石川県金沢市広坂2-1-1 石川県政記念しいのき迎賓館3階

【アクセス】金沢駅から約10分、金沢東IC・金沢西IC・金沢森本ICから約20分

金沢市には国連大学サステナビリティ高等研究所の唯一の現地活動機関（いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット（OUIK））があります。OUIKでは、国際的にも高く評価され保全が望まれる石川の豊かな自然と文化を次世代に手渡してゆくため、地域に根ざした研究を柱として活動しています。

そして、その成果を持続可能な社会作りにつながる日本の地方モデルとして、国際社会に発信し、地域から国際的な議論や課題解決に貢献しています。

本プログラムではOUIKを訪問し、その取り組みを学ぶことで、SDGsが地域社会でどのように推進されているかを具体的な例とともに知ることができます。

事前学習

- ・SDGsが生まれた歴史的背景や17の目標など基礎学習をしよう
- ・SDGsのケーススタディを通じて成功事例を学ぼう

現地学習

- ・国際連合とは
- ・OUIKの取組と研究成果
- ・金沢の街歩きで注目してほしい点

事後学習

- ・ユネスコの文化遺産や自然遺産など、自分たちが住む地域の国連関連の資源を調べよう
- ・自分たちの住む地域の課題についてSDGsの観点から解決策を考えよう

SDGsで
あてはまる項目



問合せ先

国連大学 サステナビリティ高等研究所
いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット

電話番号：076-224-2266

メールアドレス：unu-iasouik@unu.edu

下記URLから申込書をダウンロードし、メールにて
ご提出ください。※学校が提出すること

https://www.kanazawa-kankouyokai.or.jp/lsc/upfile/document/0000/0073/73_1_file.xlsx

設定期間●2024.10月～ 水曜AMのみ見学可

最少受付人数●5名

最大受付人数●40名

体験所要時間●60分

販売価格●無料

受入可能時間●9：30～12：00

金箔製造のワザとココロ ～体感型金箔総合ミュージアムで学ぶSDGs～

その他



金箔製造の現場を訪問し、貴重な資源をムダなく利用する精神を学ぶ

【実施場所】箔一本店箔巧館

【所在地】石川県金沢市森戸2丁目1-1 【アクセス】金沢西ICから下車5分（上り口料金所まで1分）

金箔の国内生産量のうちおよそ99%を占める金沢では、江戸時代から始まった金箔製造の技術が今日に受け継がれています。

本プログラムでは、金箔の製造から販売までを一貫して手掛ける「箔一本店箔巧館」において、現代における箔作りを実演を交えながらご覧いただきます。また、スタッフの説明や体験を通じて、捨てる場所がないといわれる金箔製造の過程の中から、余った素材をどのように活用するのかを学んでいただきます。



事前学習

- ・なぜ金沢で金箔製造が盛んになったのか調べてみよう
- ・日本や世界での金の産出について調べてみよう

現地学習

- ・金箔の製造工程について、実演を
- ・日本や世界での金の産出について調べてみよう

事後学習

- ・学校や自宅で不要となったものを、再利用している事例を発表する。
- ・身近なもので、捨ててしまう部分を利用して逆に新たな価値を生み出すことができるか考えてみる。

SDGsで
あてはまる項目



問合せ先 株式会社 箔一

電話番号：076-240-8911

メールアドレス：contact_ex@hakuichi.jp

設定期間●通年（定休日1/1）

最少受付人数●10名

最大受付人数●50名（2回転で100名ほど）

体験所要時間●60分～70分

体験料金●1人1,100円

受入可能時間●9：00～16：00

ぶどうの森の「ラシェットプロジェクト」 ～美味しく学ぶSDGs～

その他



エコな農園経営のヒミツを知り、人・自然・農業の新しいつながりと循環について学ぶ

【実施場所】ぶどうの森 本店

【所在地】石川県金沢市岩出町ハ50-1 【アクセス】金沢森本ICから下車5分

金沢市北部に位置する岩出町は、かつては豊かな水田地帯でしたが、現在では耕作放棄地が生まれ、獣害にも見舞われるようになっています。

そんなこの地に新たに誕生した「ラシェット」とは、フランス語で「料理の一皿」を意味します。円形の農園では、農薬、除草剤、化学肥料を使わず野菜を育て、新しい自然の循環ができることを目指しています。

本プログラムでは、地元のぶどう農園エコな農園経営を体験し、豊かな里山を未来へつなげていく取り組みについて学びます。



事前学習

- ・「里山」とはどんなところか調べてみよう
- ・「エコな農業」とはどのようなものか想像してみよう

現地学習

- ・ぶどうの森のエコな取り組みと「ラシェットプロジェクト」について学ぶ
- ・農園体験（野菜の収穫など）
- ・収穫した野菜やジビエを使用した食事（ランチ）

事後学習

- ・自分たちの身近な場所で、人・自然・農業がどのようにつながっているか考えてみよう。

SDGsで
あてはまる項目



問合せ先 株式会社 ぶどうの木

電話番号：076-258-0001

メールアドレス：k-ikeda@budoo.co.jp

設定期間●通年（定休日1/1）

最少受付人数●30名

最大受付人数●40名

体験所要時間●120分 受入可能時間●10：00～13：00

体験料金●1人2,500円（ランチ付き）



もったいないから旅の思い出に ～九谷焼の廃材を使ったデコレーション体験～

兼六園
周辺



POINT 九谷焼の廃材を利用した創作体験を通じ、つくる責任とつかう責任について考える

【実施場所】片岡光山堂体験コーナー

【所在地】石川県金沢市兼六町2-1 【アクセス】兼六園【桂坂口】を出てすぐ右手にあります

九谷焼はその華やかな魅力で多くの人を惹きつける一方、制作過程の中でも傷や欠けが生じると商品にならず、産業廃棄物として捨てられてしまうのが現状です。

本プログラムでは、廃棄される不良品を細かく砕きカラフルなフォトフレームとしてアップサイクルする体験を通じ、つくる責任とつかう責任について考えます。また、伝統工芸の継承について考える機会を提供します。



事前学習

- ・廃棄される不要なものを再利用することによって、新たな価値が創造されている事例がないか調べてみよう

現地学習

- ・九谷焼の歴史や技法を学ぶ
- ・九谷焼の廃材を利用したフォトフレームを制作
- ・九谷焼の器でお茶をいただき、九谷工芸の継承について学ぶ（伝統工芸SDGsセミナー）

事後学習

- ・「つくる責任、つかう責任」という視点から、伝統工芸品と身の回りの大量生産されている製品の違いについて考えてみる。

SDGsで
あてはまる項目



問合せ先 有限会社 片岡光山堂

電話番号：076-221-1291

メールアドレス：kouzandou@po4.nsk.ne.jp

設定期間●通年（定休日：年末年始）

最少受付人数●4名

最大受付人数●20名

体験所要時間●1時間30分～2時間

受入可能時間●10：00～16：00

販売価格●1,500円

伝統の職人技に触れる ～畳コースター作り体験～

東山周辺



伝統の職人技とサステナブル床材の畳を体感する

【実施場所】浅の川園遊会館

【所在地】石川県金沢市観音町1丁目1番4号 【アクセス】金沢駅からバスで7分

金沢浅の川園遊会館がある観音町は、かつて傘屋、下駄屋、畳屋など職人と呼ばれる人たちのお店が軒を連ねていました。

そんな職人さんのお店は売るだけでなく、傘や下駄や畳を修理することで再利用もしており、ものを大事に扱う精神は町全体に行き届いておりました。

このプログラムは、絶滅危惧種と言われる畳職人が考えた畳表でのコースター作り体験により職人の気持ちを追体験し、畳の香りに親しんでいただく企画です。



事前学習

- ・畳を始めとした伝統的な日本の生活文化を調べてみよう。
- ・自然素材で作られる伝統的な日本家屋の特徴とその機能性、先人らの生活の知恵を調べてみよう。

現地学習

- ・畳職人が作った畳でコースターを作成
- ・会場である浅の川園遊会館に展示されている茶屋文化の実物展示やジオラマ、映像を館内スタッフが説明

事後学習

- ・先人らの生活を実際にお年寄りの方々に聞いてみよう（家族、福祉協議会の紹介等）
- ・現代の生活にも受け継がれている先人らの生活の知恵を探してみよう

SDGsで
あてはまる項目



問合せ先 金沢 浅の川園遊会館

電話番号：076-256-0908

メールアドレス：info@kanazawa-asanogawaenyukai.com

設定期間●通年（定休日1/1）

最少受付人数●20名 最大受付人数●60名

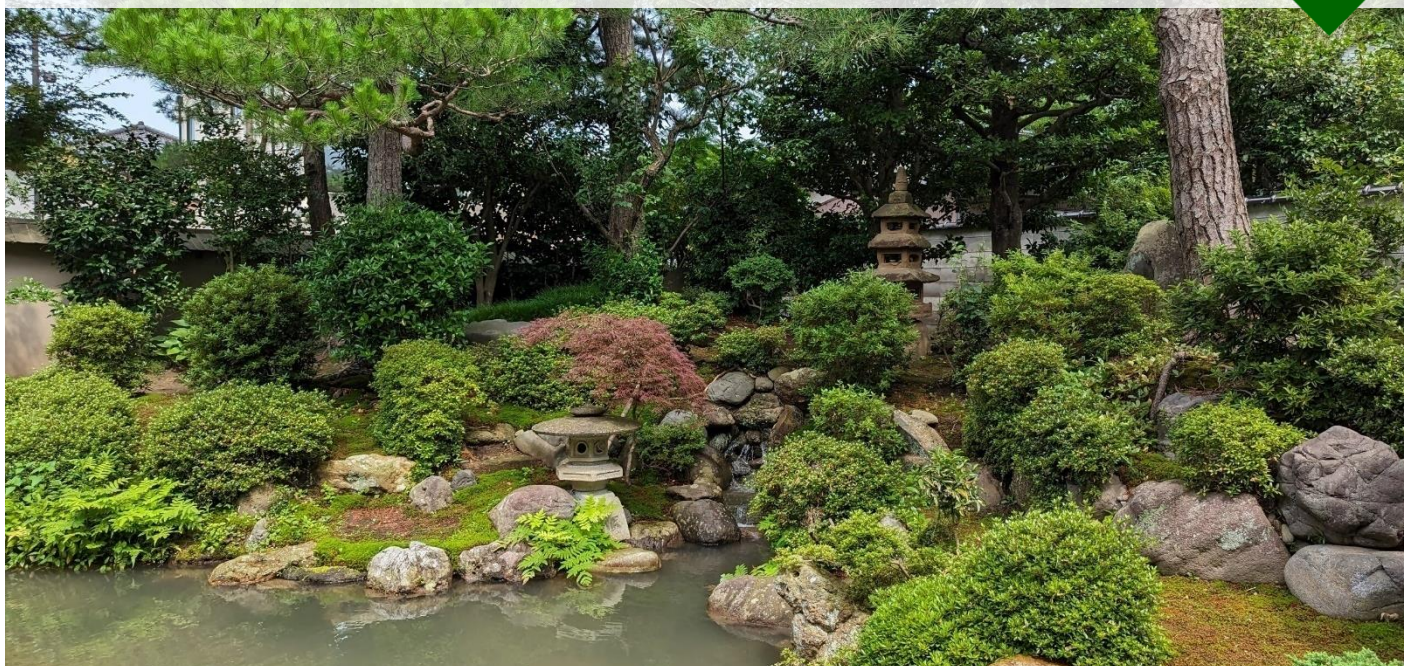
体験所要時間●30分（制作20分＋職人文化解説10分）

受入可能時間●9：00～16：00

販売価格●1,000円／人〔体験料（材料費）・入館料（解説付）〕

サステナブルな観光を ～金沢の武家文化・庭園を継承していく～

長町周辺



金沢市指定名勝の庭園の価値を体感しながら、サステナブルな観光を学ぶ

【実施場所】長町 千田家

【所在地】石川県金沢市 武家屋敷跡・野村家前 【アクセス】香林坊バス停から徒歩6分

武家文化と茶道文化が融合し、独特の美を創り上げてきた金沢の庭園。兼六園の他にも、金沢には多くの日本庭園が残っていますが、その数は減少傾向にあります。日本庭園は、観る者の心を癒すだけでなく、生物多様性や、伝統的・文化的価値も提供してくれます。さらに、グリーンインフラとしての役割も期待でき、豊かで暮らしやすい都市環境を考えていくうえで、その存在はますます注目されています。このプログラムでは、武家屋敷跡に残る武家住宅を訪れ、家人よりその歴史や庭に対する思いを伺うことにより、庭園文化や多様な生態系、継承し続けることの難しさや大切さなどサステナブルな観光を学ぶことができます。



事前学習

- ・金沢市内には用水が55本の用水が流れています。用水の機能について調べてみよう。
- ・日本庭園の特徴について調べてみよう。

現地学習

- ・庭園の歴史等について説明・庭園鑑賞
- ・茶道による薄茶を堪能、茶道文化を体感
- ・武家住宅や季節のしつらえ見学

事後学習

- ・千田家が、周囲の武家屋敷と異なる特徴をもっていました。それについて発表しよう。
- ・自分の地域で、市や県に指定されている名勝や文化財について確認してみよう。

SDGsで

あてはまる項目



問合せ先 金沢市観光協会

電話番号：076-232-5555

メールアドレス：kodama@kanazawa-kankoukyokai.or.jp

設定期間●通年（木曜・年末年始除く）※リクエストベース
最少受付人数●4名 最大受付人数●16名
体験所要時間●庭園鑑賞＋呈茶体験 60～70分
受入可能時間●10：00～11：00、13：30～14：30（応相談）
販売価格●1人 2,500円（庭園鑑賞＋呈茶）

湯涌温泉めぐり旅 「謎解きウォーク」子ギツネ編

湯涌



謎解きしながら、湯涌の歴史・文化・自然に触れる

【実施場所】湯涌温泉街

【所在地】石川県金沢市湯涌 【アクセス】金沢駅からバスで約40分

湯涌温泉は開湯1,300年の歴史ある温泉街であり、加賀前田家の藩主が代々足繫く通うとともに、竹久夢二を始めとする多くの画家や書家にも愛されてきました。近年ではアニメ「花咲くいろは」の舞台にもなり、劇中で描かれた架空の祭りである「ぼんぼり祭り」は、地域の人々の手によって現実にも開催され、大賑わいとなりました。

本プログラムでは、謎解きを通して新旧の文化が溶け合う湯涌のまちを散策し、温泉街の生業と湯涌独自の文化振興や豊かな自然を感じていただくプログラムとなっております。



事前学習

- ・ 地方の文化を継承し、守り続けることの重要性を考えてみよう。
- ・ 地域の歴史文化、自然等の資源を観光に活用した事例について、成功事例や課題を調べてみよう。

現地学習

- ・ 温泉街に存在するものがヒントとなっており、温泉街を歩いてヒントを探しながら謎を解くもの
- ・ 4つの問題と最終問題で構成

事後学習

- ・ 自分たちの地域の文化や町おこしについて、どのように発信し、どうすれば地域と観光客が共に盛り上げられるか考えてみよう。

SDGsで

あてはまる項目



問合せ先 湯涌観光協会

電話番号：076-235-1040

メールアドレス：kyoukai@yuwaku.gr.jp

設定期間●通年 ※12～2月の積雪時は不向き
最少受付人数●1名 最大受付人数●上限なし
体験所要時間●60～120分（概ね90分）
受入可能時間●
販売価格●1セット 1,000円

ホタルが棲み続けらる里山環境を保全 ～綺麗な水と生物多様性～

湯涌



生物多様性のため、地域住民にできること・観光客にできることを考える

【実施場所】玉泉湖

【所在地】石川県金沢市湯涌町イ167 【アクセス】金沢駅からバスで約40分

かつて湯涌の温泉街には、たくさんのホタルが飛び交っており、それはとても美しい景色だったと言われています。その風景を取り戻そうと湯涌の住民達がホタルの育成を続け、今では温泉街のほど近くにある玉泉湖で、たくさんのホタルが観られるようになりました。

本プログラムでは、人々と共存しながらホタルの生息環境を守っていくにはどうすればよいか、これからもたくさんの人が玉泉湖でホタルをみられるよう観光客の方々にできることは何か、豊かな自然と触れ合うことで水質や生物多様性の保全、サステナブルツーリズムについて、考える機会を提供します。



事前学習

- ・ホタルの生息環境が失われている原因を調べよう
- ・その他、生物多様性が失われている原因について考えてみよう

現地学習

- ・宿泊旅館でホタル観賞プログラム動画を視聴し基礎知識を学んだ後に、グループにわけて玉泉湖にてホタルを観賞
- ※散策路は舗装され、ホタルの案内看板も設置されております

事後学習

- ・食べ物、木材、医薬品など、私たちの生活が多様な生物を利用することによって成り立っているか、生物多様性の重要性について調べてみよう

SDGsで
あてはまる項目



問合せ先 湯涌観光協会

電話番号：076-235-1040

メールアドレス：kyoukai@yuwaku.gr.jp

設定期間●6月中旬～7月末頃

最少受付人数●ー 最大受付人数●ー

体験所要時間●60分程度（動画視聴を含む）

受入可能時間●ー

販売価格●無料

【まいどさん企画】金沢随一の観光地 ひがし茶屋街をサステナブルの観点で歩く

東山周辺



伝統的建造物群保存地区を散策しながら、サステナブルな観光について考える

【集合場所】ひがし茶屋休憩館

【所在地】石川県金沢市観音町1丁目3-8 【アクセス】東山観光バス駐車場から徒歩約5分

タイムスリップしたような茶屋街の街並みは多くの人を惹きつけています。この街並みは個人、地域、町内、市など様々な人・行政の努力の上に保たれており、その結果として多くの人々が訪れ、観光産業として人々の生計を成り立たせています。本プログラムでは、ボランティアガイド「まいどさん」が、ひがし茶屋街の見どころをサステナブルな観点を加えてご案内いたします。



事前学習

- ・金沢市による歴史的な街並み保全のための取り組みについて調べてみよう

現地学習

- ・ボランティアガイドまいどさんとひがし茶屋街を散策しながら、歴史的景観や伝統文化を守る取り組みなどをSDGs視点で学ぶ

事後学習

- ・自分たちの住む街で、好きな景観はどこですか？その好きな風景はどのようにして守られているか考えてみよう

SDGsで
あてはまる項目



問合せ先 金沢市観光協会内 まいどさん事務局

電話番号：076-232-5555

ご予約は「金沢旅物語」>ボランティアガイドの

予約フォームよりお願いします。

<https://www.kanazawa-kankouyukai.or.jp/volunteer/>

設定期間●毎日（年末年始除く）※リクエストベース受付
最少受付人数●4名
最大受付人数●1グループ10名※グループ数は問わず
体験所要時間●40分 ガイド可能時間●9：00～17：00
販売価格●無料

【まいどさん企画】 訪日客にも大人気のサムライ・タウン 長町武家屋敷跡をサステナブルの観点で歩く

長町周辺



かつて加賀藩中級武士が闊歩した街を散策しながら、サステナブルな観光について考える

【集合場所】長町武家屋敷休憩館

【所在地】石川県金沢市長町2丁目4-36 【アクセス】長町観光駐車場から徒歩約5分

大きな災害や戦禍に遭わなかった金沢では、加賀藩前田家時代の街並みや建物が多く残っています。昔ながらの土堀や街路が残り、武士が暮らしていた町割りや屋敷は、日本人だけでなく多くの訪日外国人にも人気です。

本プログラムでは、ボランティアガイド「まいどさん」が、武家屋敷跡の見どころをサステナブルな観点を加えてご案内いたします。



事前学習

- ・金沢市による歴史的な街並み保全のための取り組みについて調べてみよう
- ・武家屋敷の特徴について調べてみよう

現地学習

- ・ボランティアガイドまいどさんと長町武家屋敷跡を散策しながら、歴史的景観を守る取り組みや街中に流れる用水の多面的機能などをSDGs視点で学ぶ

事後学習

- ・自分たちの住む街で、好きな景観はどこですか？その好きな風景はどのようにして守られているか考えてみよう

SDGsで
あてはまる項目



問合せ先 金沢市観光協会内 まいどさん事務局

電話番号：076-232-5555

ご予約は「金沢旅物語」>ボランティアガイドの
予約フォームよりお願いします。

<https://www.kanazawa-kankouyoukai.or.jp/volunteer/>

設定期間●毎日（年末年始除く）※リクエストベース受付

最少受付人数●4名

最大受付人数●1グループ10名※グループ数は問わず

体験所要時間●40～50分 ガイド可能時間●9：00～17：00

販売価格●無料

【まいどさん企画】 かつては大学のキャンパスだった！ 金沢城公園をサステナブルの観点で歩く

兼六園
周辺



時代により主人公を変え、劇的な変遷を遂げた金沢城公園を散策しながら、サステナブルな観光について考える

【集合場所】金沢城公園総合案内所 【アクセス】金沢城石川門入ってすぐ

日本100名城の一つであり、かつては加賀藩および陸軍の拠点であった金沢城は、戦後金沢大学のキャンパスでもありましたが、現在では国内外からの観光客が訪れる金沢を代表する観光スポットとなっています。江戸時代から残る建造物を保全したり、史実に基づき伝統的工法による歴史的建造物を順次整備したりと、常に進化を遂げている金沢城。本プログラムでは、ボランティアガイド「まいどさん」が、金沢城公園の見どころをサステナブルな観点も加えてご案内いたします。



事前学習

- ・金沢城に残る建造物の建設年を調べてみよう
- ・金沢城の他のお城にはあまり見られない特徴を調べてみよう

現地学習

- ・ボランティアガイドまいどさんと金沢城公園を散策しながら、文化遺産保護の取り組みや、市中心部に広がる大規模な緑地の意義などをSDGs視点で学ぶ

事後学習

- ・自分たちの住む街で、次世代に残したい場所はどこですか？その場所がどのようにして守られているか、これからどのような取り組みを行えばいいかについて話し合ってみよう

SDGsで
あてはまる項目



問合せ先 金沢市観光協会内 まいどさん事務局

電話番号：076-232-5555

ご予約は「金沢旅物語」>ボランティアガイドの
予約フォームよりお願いします。

<https://www.kanazawa-kankouyoukai.or.jp/volunteer/>

設定期間●毎日（年末年始除く）※リクエストベース受付

最少受付人数●4名

最大受付人数●1グループ10名※グループ数は問わず

体験所要時間●40～50分 ガイド可能時間●9：00～17：00

販売価格●無料

金 沢 体 験 学 習 プ ロ グ ラ ム

金沢で伝統工芸、伝統芸能、食文化などを体験すること。それもすべてSDGsです！

皆さんが金沢の伝統文化を楽しんでいただくことで、「街の活性化」「伝統文化の後継者の育成」につながっていきます。資源を必要以上に使用しない昔ながらの工芸品を購入すれば「やさしい資源循環づくり」にも貢献することでしょう。そんな視点でも金沢での修学旅行をお楽しみください。

▶ その他にも金沢ではたくさんの文化体験が可能です。

▶ 金沢で、とっておきの体験を！

金沢で、とっておきの体験を！

金沢体験学習 プログラム

詳しくは
こちら

金沢体験学習プログラムは下記URLにてご覧いただけます。

金沢旅物語 > 事業者・学校のみなさまへ > 資料ダウンロード > 学校・国内旅行会社様向け資料

<https://www.kanazawa-kankoukyoukai.or.jp/everyone/document/index.html>

※紙媒体でも無料でお送りしております。

※資料ダウンロードページに請求フォームのリンクがございます。